

# 和歌山北高等学校北校舎

実施日時	第1回 令和元年4月10日(水) 第2回 7月17日(水)・18日(木) 第3回 11月5日(火)
参加者	生徒911名、教職員84名、 延べ計1635名
実施内容	避難訓練、地震と津波についての学習・段ボールパーティション組立等

## ねらい

- 1、災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
- 2、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。
- 3、自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。

## 主なプログラム

- 1、第1回 防災スクールの趣旨説明と避難経路の確認(会議室)(避難経路図(校内・校外)は、クラス、校内各所、職員室に常時掲示)
  - ・校内避難経路の確認
  - ・防災スクールの趣旨、和歌山県の防災の状況
  - ・校外避難経路の確認  
(学校より避難先である平井中央公園までの約1200mを事前に職員が実際歩き、経路の様子をビデオ撮影したものを視聴し、その説明を行った。)
- 2、第2回 DVD鑑賞(会議室)
  - ・津波防災啓発DVD「大津波が和歌山を襲った～昭和南海地震津波～」  
2クラスずつ視聴し、地震、津波につ

いて防災知識を高めるための基礎的な学習を行った。また、最近の防災に関する情報を伝達した。

- 3、第3回 シェークアウト訓練を実施
  - ・世界津波の日にシェークアウト訓練を実施した。その後、和歌山県防災ハンドブックを使用し、防災についての学習と特に和歌山県防災ナビについて紹介も行った。
- 4、紀伊コスモス支援学校防災スクールへの協力(本年度は中止となった。)  
毎年、紀伊コスモス支援学校において段ボールパーティション作りとアルファ化米の炊き出し、配膳訓練、試食(体育館)本校生徒会役員がそれぞれの場所に分かれ、紀伊コスモス支援学校の生徒と協力して、段ボールパーティションの組み立て、解体、アルファ化米の炊き出し、配膳訓練を予定していたが、諸事情により中止となった。

## 概要

- 1、第1回 令和元年4月10日(水)  
11時00分～14時45分
  - ・1年生8クラス 320名  
職員 14名 会議室にて
  - ・実施内容  
(1) 校内の避難経路の確認  
(2) 校外避難場所(平井中央公園)までの避難経路を確認。あらかじめ、経路を撮影したビデオを使用

し、生徒に説明。GH 11時00分  
～11時45分 AB 12時00分  
～12時45分 CD 13時00分  
～13時45分 EF 14時00分  
～14時45分

2、第2回 令和元年7月17日  
(水)・18日(木)

- ・1年生 8クラス 320名  
職員 10名 会議室
- ・実施内容「大津波が和歌山を襲った～昭和南海地震津波～」鑑賞及び防災に関する情報の伝達。  
7月17日(水) 1限目(8:55～9:45) AB組 80名  
3限目(10:55～11:45) EF組 80名  
7月18日(木) 2限目(9:55～10:45) CD組 80名  
3限目(10:55～11:45) GH組 80名  
参考資料 和歌山県防災ハンドブック

3、第3回 令和元年11月5日(火)  
9時55分～10時45分

- ・全学年 23クラス 911名  
職員 60名 各教室
- ・実施内容 「世界津波の日にシェークアウト訓練を実施」  
近隣の高台に避難、平井公園までの避難経路確認、防災ハンドブック及び「稲むらの火」について防災学習を深める。

4、紀伊コスモス支援学校防災スクールへの協力に向けて

- ・令和元年12月4日(水) 15時30分～17時00分
- ・本校生徒会役員等20名職員2名
- ・内容 全体説明 段ボールパティシヨンの組立

### 参加者感想文

- ・意外とアルファ化米はおいしくいただくことができた。
- ・稲むらの火についても学習でき、いかに迅速な行動が必要であることが分かった。
- ・地震のメカニズムや防災に関することをしっかり学び、実際起こったときに自分がどのように行動すべきかをイメージしておく必要があると感じた。
- ・校外避難経路は実際の経路の映像を見ながら説明を聞いたので、ある程度のイメージできた。しかし、地域住民も一斉に避難することもイメージすることも必要と感じた。

○ 紀伊コスモス支援学校防災スクール参加予定していた生徒の感想

- ・毎年、支援学校の生徒のみなさんと交流を楽しみに、事前に訓練を積み重ね、準備をしています。今年は諸事情により中止となり残念でしたが、この機会があるため防災知識を高めることができている。今後も防災知識と支援学校との交流を楽しみに続けていきたいと思えます。

### 成果と課題

【成果】地震や津波についての理解、防災の大切さについては学習が深まった。アルファ化米の用意や避難経路についても意識が高まった。紀伊コスモス支援学校の防災スクールへの参加は、生徒が意欲的に参加できていることから来年度以降も続け生徒の意識をさらに高めていきたい。

【課題】体育館の改修工事であるため、体育館が使用できないが、全校生徒に防災教育ができるように創意工夫をし、防災知識を高めることに努めていきたい。また、地域との合同防災訓練も検討していきたい。